

安全作業手順書【防鳥対策工(柵設置)】

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛鳥北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具 ・車両	清掃用具一式、マグネット式ボール盤 電気ドリル、高所作業車、発電機、トラック	保護具	ヘルメット、保護メガネ、防塵マスク 安全チョッキ、ゴム手袋、皮手袋、安全ぐつ

見積りも基準をした危険性の評価			
可能性(A)	重大性(B)	軽微 (不休と休業3日以内)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
○ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○	○△	○×
△たまに起こる (1年に1回程度)	△	△△	△×
×かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×	×△	××
	(中程度)	(かなり大きい)	(極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積り	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (注意を要する)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント (～なので～になる)	リスクの見積り (A) (B) リスク	安全対策 (危険度2以下へ) (私達はどうする)	リスクの再見積り (A) (B) リスク
------	-----------	----	----------------------	------------------------	-----------------------------	-------------------------

準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する 使用機械、工具等の点検を行う しらすだーの動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 作業前に 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / / / 作業中に機械が故障し、思わぬケガをする 電池切れで緊急時、逃げるのが遅れる	△ ○ / / △ △	× × / / × ×	4 3 / / 4 4	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する / / 作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う 毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○ ○ / / ○ ○	○ △ / / ○ ○	1 2 / / 1 1
-----	------	---	---	--	----------------------------	----------------------------	----------------------------	--	----------------------------	----------------------------	----------------------------



本作業	車両確認	25.車両回送手順書に則る									
	作業車両準備	25.車両回送手順書に則る									
	作業車両点検	25.車両回送手順書に則る									
	出発準備	25.車両回送手順書に則る									
	出発	25.車両回送手順書に則る									
	規制内進入	25.車両回送手順書に則る									
車両移動	25.車両回送手順書に則る										
停止	25.車両回送手順書に則る										
逃走防止	25.車両回送手順書に則る										

使用機器等	車両から必要機材を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△ △	△ △	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から 車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○ △	△ △	2
-------	--------------	---------------------------------------	-----------------------------------	--------	--------	---	--	--------	--------	---

作業車両配置	高所作業車を配置する	高所作業車手順書に則って	高所作業車作業手順書に則る							
清掃作業	清掃作業を行う	ハト糞清掃作業手順書に則って	ハト糞清掃作業手順書に則る							

高所作業車 乗り込み準備	道具や材料を高所作業車に積み込む	①小さなもの、細かいものは布袋にいれ ②ニッパーやハサミ等、使用道具の落下防止ロープを確認して ①全員の墜落制止用器具の使用を確認してから ②有資格者による操作を確認して	高所作業車から物を落下させ 下場の走行車両に接触する 高所作業車から誤って転落する 作業床等が構造体に接触する	△ ○ △	× × ×	4 3 4	道具等は極力落下防止ロープをつけ、 材料取扱時は十分に留意して作業する 高所作業車乗車時は必ず墜落制止用器具を使用する 挟まれ防止用の棒を設置し、必ず車両監視員を配置する	○ ○ ○	○ ○ ○	1 1 1
	高所作業車を操作し、ネット設置箇所へ移動する									
柵設置	柵を結束バンドでガイドロープや検査路の手すりに取り付け、 固定部からはみ出した分を切断する	①落下防止対策器具の使用を再度確認してから ②結束バンドの差し込み向きに注意して ③手袋等、保護具の着用を確認して	作業中、道具を落下させ走行車両に接触する	△	×	4	道具に落下防止ロープを取り付け作業する	○	○	1

ゴム板設置 【RC橋脚】	剛孔後、橋脚にアンカーを打設する	①下場の監視員と連絡を取りながら ②一般車両及び通行人がいないことを確認して ③手袋、保護が、保護マスクの着用を確認して ④ハンマー使用時は手元に十分注意して ナットの落下に十分注意して	剛孔時に手首をひねる	△	△	3	両手でしっかり保持して使用する	○	○	1
	アンカーにゴム板を固定する		袋からナットを落下させ走行車両に接触する	△	×	4	材料は足元に置かず、作業の邪魔にならない場所に置く	○	○	1

ゴム板設置 【鋼製橋脚】	検査路歩廊部にアトラーで孔明する	①手袋、保護が、保護マスクの着用を確認して ②マグネット盤が固定されていることを確認して	アトラーが落ちてきてケガをする 軍手を着用してアトラーの歯に手を巻き込まれる	×	×	5	アトラーの下に入って作業をせず、プラグが 抜けないように発電機の取手に後縛りして差し込む 皮手袋を使用し、 回転工具の歯の回転が停止したことを確認する	○	○	1
	ボルトでゴム板を固定する	ナットの落下に十分注意して	/	/	/	/	/	/	/	/

仕上げ	発生材や道具を片付ける	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して	/	/	/	/	/	/	/	/
	清掃道具で場内清掃を行う	車線側への飛散に十分気を付けて	掃き掃除やブロー使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 警告等を用いて合図をしながら清掃する	○	○	1
	場内状況及び清掃状況を確認する	使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	/	/	/	/	/	/	/	/

現場離脱	25.車両回送手順書に則る									
帰着	25.車両回送手順書に則る									

後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/
-----	------------------	-----------------	---	---	---	---	---	---	---	---

特記	1人作業	原則1人作業はしない。やむを得ず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。									
	パワーゲートを使用した荷台積み下ろし	パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライドバーの延伸による足挟まれに注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。	○	○	1
	台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逃走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逃走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1